

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	IQLino豊中学校			
○保護者評価実施期間	2025年3月1日 ～ 2025年3月31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	なし	(回答者数)	なし
○従業者評価実施期間	2025年3月1日 ～ 2025年3月31日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年5月1日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	小学校生活へと環境が変わる事が多い中で継続して通う事ができ、安心できる居場所の確保が出来る	小学校への不安が多い中、子どもたちが安心して通えるよういつもと変わらない環境作りを行っている	笑顔で来所、笑顔で降所が出来るよう楽しめる環境づくりをしていく
2	IQLinoのプログラムを小学生向きに難易度を上げて取り組む事でより指先や考える力をつけることが出来る。	入学前に取り組んでいた内容より少し難易度が上がるようプログラムの立案をしている	子どもが少し手を伸ばせば達成できるプログラムを立案し、自分で出来たという達成感を感じられるよう支援していく
3	レジリエンス(心の回復力・立ち直る力)を育てる事が出来る	結果を褒めるだけではなくそれまでの過程を認め、共感しながら自信へと繋がるようプログラムを実施し、自立への手助けを行っている	スタッフが子どもに寄り添いながら安心して安心して通える環境を整えていく

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	小学校・支援学校との交流の場がない。	交流を目的としては時間の確保的にも難しい。	イベント等への参加等交流できる機会を検討していく
2	事業所でのイベントに、利用者以外の地域住民招待などを実施できていない。	利用者枠での参加は募っているが、他の方の参加枠を設けていない事や外部への周知が不十分であった	SNS等を活用し、利用者以外へのイベント周知や利用者以外の参加を検討していく
3	地域の児童発達支援センターなどとの連携が多く出来ていない。	地域の児童発達支援センターとどのような連携がとれるかなどについての情報を収集できていない。	児童発達支援センターとどのような連携の仕方があるか等情報収集をし、連携が取れる機会を検討していく